

### 1. 実況上の着目点

- ① 500hPa -36℃以下の寒気を伴った5160m付近のトラフに対応して、シベリア付近には低気圧があって、南東進。低気圧に向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となっており、東北地方の日本海側では1時間におよそ20mmの雨量を解析、雷を検知。
- ② 東シナ海に中心を持つ高気圧が西日本～日本の南に張り出している。
- ③ ①の低気圧と②の高気圧との間で気圧の傾きが大きくなっており、日本付近では強い風が吹いている所がある。
- ④ 千島の東には、発達した低気圧があって東北東進。この低気圧を波源とするうねりにより、北～東日本太平洋側ではうねりを伴って波が高くなっている所がある。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の寒気を伴ったトラフは、21日夜に沿海州付近～南東進し、22日は切離されて寒冷渦となり、オホーツク海へ東進する。1項①の低気圧は、21日夜には中国東北区付近に進んで衰弱し、新たに別の低気圧が沿海州付近に形成され、22日夜にはオホーツク海へ進む。また、低気圧周辺に地上のシアーラインが形成され、22日に北日本を通過する。低気圧やシアーラインに向かって下層暖湿気が流入し、大気の状態が非常に不安定となる所がある。北日本では22日にかけて、東日本では21日は、落雷や突風、急な強い雨、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ② 1項②の高気圧は、東シナ海をゆっくり南東進し、22日には南西諸島付近、23日にかけて日本の南へ進む。また、大陸から別の高気圧が南東進し、23日には日本海へ進む。これらの高気圧と2項①の低気圧との間で気圧の傾きが大きくなり、強い風が吹いて、波が高くなる所がある。北～西日本では23日にかけて、強風や高波に注意。
- ③ 2項①の低気圧に向かって、北日本では22日にかけて、東～西日本では23日にかけて、850hPa気温の平年差+6～+8℃の暖かい空気が北～西日本に流入し、雪解けが進む。北日本では22日にかけて、東～西日本では23日にかけて、積雪の多い所を中心になだれや融雪に注意。
- ④ 1項④の発達した低気圧は、22日にかけてアリューシャンの南へ進む。この低気圧を波源とするうねりにより、波が高くなる所がある。北～東日本太平洋側では21日は、うねりを伴った高波に注意。

### 3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

- 4. 防災関連事項 [量的予報等] ① 雨量(06時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(06時からの24時間)：多い所(注意報級以上)はない。③ 波浪(明日まで)：北海道・東北・伊豆諸島・北陸・中国・九州北部3m。

### 5. 全般気象情報発表の有無 発表の予定はない。